

Tokyo International Lesbian & Gay film festival



第21回 東京国際 レズビアン＆ゲイ 映画祭 実施報告書

2013年3月

東京国際レズビアン＆ゲイ映画祭
運営委員会

目次

■実施概要及びTOPIX	… P.3
■実施データ	… P.4
■上映作品／関連イベント	… P.5
■公式パーティー「Le Grand Bal」	… P.13
■会場の様子と新しい取り組み	… P.14
■プレス掲載一覧	… P.15
■ウェブサイト・インターネットの活用	… P.16
■アンケート	… P.17

実施概要

■ TOPIX

- 1) 第一回からのべ観客動員数が10万人超え達成
- 2) 動員数約5000人（対前年比125%）着席率：92.5%（昨年比+22.5%）と昨年より大幅増
- 3) LGBT ART 2012との同時期開催により、新しい客層の取り込みに成功。

■ 概観

第21回東京国際レズビアン&ゲイ映画祭は、多くの方々のご支援、ご協力を賜り、大盛況の裡に終了することができました。今年の開催は9月開催となった為様々なイベントでの事前告知をすることが出来、会場となったスパイラルホールは昨年にも増した着席率となり全入場者数は約5000名を超え、多くの方々に楽しんでいただくことができました。

また、今年はアルファロメオ、NPO法人グッド・エイジング・エールズとの協力により、第一線のLGBT（Lesbian、Gay、Bisexual、Transgender）アーティストらの作品を集めた「LGBT ART 2012」もスパイラルビル1階で開かれ、映画のみにとどまらず、“総合文化祭”として進化も遂げました。

■ 事前の準備について

映画祭がこれまで積み重ねてきた実績をさらに発展させるため、WEBやSNSを利用した広報活動に力を入れ、映画祭としては初めてパレードでブースを出店することにより、映画祭をより多くの人に広める事が出来、寄付という新たな取り組みにもチャレンジするなど、20回目を越え、新たな映画祭を作り上げていくに相応しい活動を行うことが出来ました。また、5か国の大使館等からの後援、多くの団体・企業の協賛・協力を得ることができ、セクシュアリティをめぐる社会の理解が進んでいることを感じ、私たちにとっては大きな励みとなりました。

■ 当日について

今年はホワイエ内にこういった展示があるか、ブースがあるかなどを表示した「標識」を設置したり、著名人からいただいたメッセージを展示するなど、上映の間ホワイエにいる時間も観客に楽しんで頂けたのではないかと思います。

上映に際しては、大きな機材トラブル等はありませんでしたが、字幕をフィルムに焼き付けるのではなく、字幕を投影する方法を選択したため、上映前のチェックに時間がかかり、定刻で観客の入場を開始することが出来ない事が多々あり、次回に向けた反省材料となりました。

実施データ

第21回東京国際レズビアン&ゲイ映画祭

会期：2012年9月14日〔金〕～9月17日〔月・祝〕（4日間）

会場：スパイラルホール（港区南青山5-6-23 スパイラル3 F）

C A Y（港区南青山5-6-23 スパイラルB 1 F）※公式パーティー「Le Grand Bal」

上映プログラム：10プログラム（全15回上映）

総来場者数：5,000名

着席率：92.5%（昨年比 **+22.5%**）

主催：東京国際レズビアン&ゲイ映画祭運営委員会

特別協賛：アルファ ロメオ

特別協力：東京ドイツ文化センター

協賛：東京LGBTインターバンクフォーラム／ソフトバンクモバイル株式会社／有限会社 ティー・プレイ／小淵沢アートヴィレッジ（中村キース・ヘリング美術館）／ラブピースクラブ／アメリカンアパレル／gossip／HOTCROSS／News Café／公益社団法人 アムネスティインターナショナル日本／特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター／REACH Online 2012／ハッピーデイウェディングス／特定非営利活動法人 グッド・エイジング・エールズ／株式会社 オフィスコトウ／Rehab／ベルヴェデール／グラン マルニエ／特定非営利活動法人 LGBTと家族と友人をつなぐ会／I♡GF／goldfingerparty.com

協力：株式会社 ワコールアートセンター／日本映像翻訳アカデミー(R):English Clock／有限会社 スタンス・カンパニー／関西クィア映画祭／東京レインボープライド／Stonewall AJET／ザ・ボディショップ（株式会社 イオンフォレスト）／株式会社 資生堂

メディアパートナー：テラ出版／Tokyo Wrestling／株式会社 古川書房

後援：アメリカ大使館／カナダ大使館／スウェーデン大使館／ベルギー王国大使館／ブリティッシュ・カウンシル

Special supporter：Teramax／オガツ ユウキ／★Caribbean Paradise★TOMO／and more..

上映作品／関連イベント

『夕立ちのみち』（原題：Cloudburst）

監督：トム・フィッツジェラルド
2011年／アメリカ、カナダ／93min.
ジャパン・プレミア

上映日時：

9月14日〔金〕 21:00～ 来場者数 270名
9月15日〔土〕 16:05～ 来場者数 402名



★お客さまからの声（アンケートから）

- ・人生は出会いと別れ、一度きりしかないんだから少しは周りに迷惑をかけるくらいの人生だっていいんだなと思った。すごく良かったです。
- ・すごくおもしろかった。これ一般ロードショーでも公開してほしいです。じじば映画が好きで見にきたのですが、期待以上でした。レズビアンカップル(ゲイカップル)でも今後老後のことは重要なので、こういう映画がもっと多くの人に見られるとよいです。
- ・ずっと先の未来のことだとは思いますが、色々と考えさせられました。あんな素敵なお下品で元気なおばあちゃんになれたら良いなと思います。酒場の場面が素敵でした。
- ・面白かったが、品のない表現が多いのが残念。

★オープニングイベント（9月14日〔金〕 21:00～）

ゲスト：米谷恵子さん（レズビアンマザー）
岩国英子さん（レズビアンマザー）



米谷恵子さん、岩国英子さん
（レズビアンマザー）



司会のマーガレットさん



4人交えてのトークセッション



上映作品／関連イベント

『ノース・シー 初恋の海辺』（原題：Noordzee, Texas）

監督：バヴォ・ドフルヌ
2012年／ベルギー／96min.
ジャパン・プレミア

上映日時：
9月17日【月祝】19:25～ 来場者数 355名



★お客さまからの声（アンケートから）

- ・雰囲気の良い映画だった。かけ言葉など、言語による遊びもあったのかな、と思い、元の言葉がわからないのを残念に思った。
- ・素敵な映像でした。（その気はないつもりでしたが、主人公の少年にちとドキドキしてしまった。）
- ・ラストがいまいちでした。新しい何かがほしいですね。ハッピーエンドに感じなかったのが残念！！
- ・若い男の人同士の恋愛はいいですね！！
- ・意外な展開だった。

★クロージングイベント（9月17日【月祝】19:25～）
ゲスト：石川大我さん（ハートをつなごう学校より）

司会：オナン・スペルマーメイドさん（ドラァグクィーン）
宮沢英樹（当映画祭代表）



宮沢英樹



石川大我さん



オナン・スペルマーメイド
さん



ハートをつなごう学校の
紹介

上映作品／関連イベント

『VITO／ヴィト』（原題：VITO）

監督：ジェフリー・シュワルツ
2011年／アメリカ／93min.
ジャパン・プレミア

上映日時：
9月15日〔土〕18:15～ 来場者数 352名



★お客さまからの声（アンケートから）

・シリアスなだけでなく、シャレの効いた場面もあっておもしろかった。エンドクレジットでブライアン・シンガーの名を見た時は鳥肌が立った！

・DVDになったら是非また観たいし、ストレートの友達にも観て欲しい。

・ヴィットは顔しか知らずどのような人だったのか初めて知りました。ありがとうございます。

・楽しい作品もいいのですが、毎年この映画祭のドキュメンタリーに注目しています。今日のVITO、是非DVD等で入手したいですね。セルロイド・クローゼットは自分にとって衝撃的でした。また触れる機会となり嬉しかったです。

★トークイベント（9月15日〔土〕18:15～）

ゲスト：パトリック・J・リネハンさん（大阪・神戸米国総領事）
エマーソン・カネグスケさん

司会兼通訳：松下由美さん（シンガポール映画祭実行委員）



パトリック・J・リネハンさん



エマーソン・カネグスケさん



松下由美さん



トークセッションの様子

上映作品／関連イベント

『ベルリン・ラブ・パニック』 (原題 : Männer zum Knutschen)

監督 : ロベルト・ハスフォーゲル
2012年 / ドイツ / 83min.
ジャパン・プレミア

上映日時 :

9月15日 [土] 20:50～ 来場者数 308名
9月16日 [日] 14:00～ 来場者数 333名



★お客さまからの声 (アンケートから)

- ・ コメディということで期待していなかったが、中々楽しめた！出演者がゲストで出てきてびっくり！最後まで楽しめました。
- ・ 楽しかったです。ゲストの二人の裏話もおもしろかった。作品がより理解出来ました。通訳の飯田さんもわかりやすく良かったです。THKS!
- ・ 作品もおもしろかったですがゲストの方がとてもフレンドリーですてきな方々でした。写真もとれてとてもうれしかったです。
- ・ ウタが思ったより可愛い人だった。みんなで笑って見られる映画、空間ってとても楽しかった。とても満足している。

★トークイベント (9月15日 [土] 20:50～) & 9月16日 [日] 14:00～

ゲスト : フランク・クリスチャン・マルクス さん (主演兼プロデューサー)
ウド・ラッツさん (主演兼プロデューサー)

司会 : エスムラルダさん (ドラッグクィーン)
英語通訳 : 飯田さん、手話通訳 : 高島さん



手話通訳の高島さん (左) と、
司会のエスムラルダさん



フランク さん、ウドさん
英語通訳の飯田さん (中央)



ホワイエにて記念撮影



仲良しなお二人でした。

上映作品／関連イベント

レインボー・リール・コンペティション / Rainbow Reel Competition

『失恋スプリンター』（英題：Heart Break Sprinter）
監督：浅沼直也
2011年／日本／25min.

『ノイズが言うには』（英題：Thus A Noise Speaks）
監督：小田香
2010年／日本／38min.

『TSUYAKO』（英題：TSUYAKO）
監督：宮崎光代
2011年／日本・アメリカ／25min.

『ごくごくふつーのっ!』（英題：Quite Ordinary）
監督：Studio LUNCHBOX
2011年／日本／16min.

上映日時：
9月17日〔月祝〕 16:25～ 来場者数 369名

★トークイベント（9月15日〔土〕 20:50～）
ゲスト：作品エントリー関係者（総勢XX人）
司 会：オナン・スペルマーメイドさん



レインボー・リール賞
を受賞された
『TSUYAKO』の皆様

★お客さまからの声（アンケートから）

・「失恋ランナー」は青春の女の子の心のゆれがよかったです。（プールのシーンは水着のほうが…裸だともっと…）
ヨーコがキョウコに抱きついたり、もっとじゃれあったスキンシップを多くみせてほしかったです。

「ノイズ～」は、母の苦悩がよくでてました。
「TSUYAKO」は全体的によく、昭和の嫁と姑、男の子を待ち望む家計、ラストのシーン、とてもよかったです。

欲を言えば、もっと濡れ場がみたかったです。

「ごくごくふつーの～」は先生が美男子でなかったのがよし。
コメディで笑わせてもらいました。

・「TSUYAKO」の完成度や描写の深さに驚いた。非常に良い作品だったと思う。ありがとうございました。



上映作品／関連イベント

『ウィークエンド』（原題：Weekend）

監督：アンドリュー・ヘイ
2011年／イギリス／96min.
ジャパン・プレミア

上映日時：
9月15日〔土〕 11:45～ 来場者数 329名
9月16日〔日〕 20:50～ 来場者数 410名



★お客さまからの声（アンケートから）

・劇的な出来事が・・・死とか、相手が王子様だったようなハッピーエンドとか・・・もなく、二日間の出来事が丁寧に描かれていて、それも多分今も昔もきっといろんなカップルの間にあったような会話や朝の風景で、普遍的なものを感じた。いい作品だった。

・自らの幸せを大切に出来れば満足なのか（もう一人の主人公）社会的な承認までも欲してしまうのか（グレン）この二つの対立は自分の中にもあって。ゲイにとって根深い問題だと思った。

『彼と彼女のゲイビー大作戦』（原題：Gayby）

監督：ジョナサン・リセッキ
2012年／アメリカ／89min.
ジャパン・プレミア

上映日時：
9月17日〔月祝〕 14:05～ 来場者数 293名



★お客さまからの声（アンケートから）

・映画を観てこんなに笑ったのは久しぶりです。とにかく面白かった。それに子供を作る、もつのはヘテロカップルにだけある特権でないこと、可能性がたくさんあることを教えさせてくれました。とても幸せな気分です。もっとたくさんの人に見て欲しい映画です！！！！

・良しもなし不可もなくというかんじでした

・とても面白かったです。普通のロードショー作品としてもとても良いくらいです。ハッピーになれる映画でした。

上映作品／関連イベント

『マルガリータ』（原題：Margarita）

監督：ドミニク・カルドナ&ローリー・コルバート
2012年／カナダ／90min.
ジャパン・プレミア

上映日時：

9月15日〔土〕 14:00～ 来場者数 233名
9月16日〔日〕 18:45～ 来場者数 243名



★お客さまからの声（アンケートから）

・ジーンの家族について、ほとんど描かれなかったのはおしかったです。たとえ祝福されなくても、ジェーンの語りだけでもあればよかったと。

でもマルガリータはたしかに美人でとても魅力的でした。市場の野菜の色彩がとてもきれいで、所々で流れる音楽も良かった。

・ステキでしたー。

Home、故郷、家族って何をもってそうなるんだろうと思いました。損得すべて含めて、愛も交錯して、そうなるんでしょうか。マルガリータと一緒に悩みました。

『キス・ミー』（原題：Kyss Mig）

監督：アレクサンダー・テレセ・キーニング
2011年／スウェーデン／105min.
ジャパン・プレミア

上映日時：

9月16日〔日〕 16:25～ 来場者数 396名
9月17日〔月祝〕 11:45～ 来場者数 267名



★お客さまからの声（アンケートから）

・登場人物の何人かに感情移入し、複雑な気持ちで見ました。最近、彼氏と同棲してるのをやめて、彼女ができたので、なおさらでした。笑

・フリーダの気持ちがすごいよくわかる！！でもハッピーエンドで良かった。

そして、お母さんが素敵だった。

あのような理解のある国に日本も早くなれたら良いと思う。

・親の心情も含まれていて、自分と重ねられるシーンが多く、感動しました。

上映作品／関連イベント

アジアボーイズ短編集 / Asian Boys Shorts

『ミッドナイト・ドライブ』

(原題：赤鱺角到天水圍是我愛你最佳距離
／FROM HERE TO THERE)

監督：ノリス・ウォン

2012年／香港／29 min.

ジャパン・プレミア

『夜間飛行』(原題：야간비행／Fly by Night)

監督：ソン・テギョム

2011年／韓国／21 min.

ジャパン・プレミア

『アンコール』(原題：再演一齣戲／ENCORE)

監督：アンソニー・レン

2011年／台湾／32 min.

ジャパン・プレミア

『スマイル』(原題：그렇게 웃어주던 니가

／You Used to Smile That Way)

監督：パク・ソン

2009年／韓国／13 min.

ジャパン・プレミア

上映日時：

9月16日〔日〕 11:45～ 来場者数 324名

★お客さまからの声（アンケートから）

・香港のはよかった。青春を思い出し、最後はちょっと切ない現実。一本目の韓国のもよかった。これからどうなるのか、短編としてまとまっていた。台湾のは母の気持ちも描かれていて切ない。二本目の韓国のはよくわからなかった。ちょっとアートのすぎ。

・ミッドナイトラブ：所々笑えるところがあり、身構えることなく見れた。すごく切ない……。・夜間飛行：好きな人と同じことをしたくなってそこが切ないと思いちょっとモヤッとする。・アンコール：親子で見たくなった。・スマイル：短いと感じた。少しわかりにくい。切なさや決意は伝わってきた。

・親子のカミングアウトに関する作品の上映は来年もみたいです。



公式パーティー「Le Grand Bal」

■実施概要

毎年恒例の公式パーティー「Le Grand Bal」。今回は、スパイラルホール地下のレストラン「Cay」を会場に、映画祭に協賛してくれている企業からの豪華景品や映画祭のチケットの抽選会を行いました。また、翌日から行われる映画祭の見どころの紹介が行われました。

■実施データ

日時：9月13日（木）19：00～24：00

場所：CAY（スパイラル地下1階）

入場料：4500円 ※割引（フライヤーか前売り販売）4000円／割引（学生）3500円

来場者数：280名

MC：オナン・スペルマーメイド

スペシャルホスト：真崎航

ゴージャスパフォーマー：星野晃代／MAAYA SHO／Baliasi～バリアージ～

DJ：shun

ゴーゴボーイズ：RYO／HARU／K e 1

募金ガール：アイハラミホ。

タロット：Ban

夜店：SHANTI RIOT

MAAYA SHOさん



星野晃代さん



真崎航さん



Baliasi～バリアージ～さん



オナン・スペルマーメイドさん
広報担当樋口



フロアーの様子↓



オナン・スペルマーメイドさん
アイハラミホ。さん



会場の様子と新しい取り組み

今年も好評のレインボーグッズ



著名な方からのメッセージ



JIRO ARTさん



会場について

- ・今年も会場装飾に力を入れました。
- 映画の待ち時間や、一人で来場される方でも楽しめるように、著名人から頂いたメッセージを展示したり、キヨスクやバーカウンターなどの場所を来場した方が迷わないよう、案内表示を作成するなど工夫しました。踊り場にはMAAYA SHOさん直筆の掛け軸を掲げ、レインボーアート展から映画祭へ誘導出来るようにすると共に、来場された方に対しては「映画祭に来た！！」と強く印象付けることができました。

新しい取り組み

- ・協賛だけではなく、寄付という形で一般の方々にも映画祭を支援していただける取り組みを開始。
- ・映画祭が取り上げられた媒体をサイトに掲載し、朝日新聞他大小様々なメディアから注目されていることを多くの人にアピール。
- ・パンフレットをダウンロード出来るようにし、来場せずともパンフレットを入手出来、スマートフォンやPCでも見れるようにしました。
- ・8月に開催されたパレードにブースとPartyを出し、映画祭を広める活動を行いました。

MAAYA SHOさん直筆の掛け軸 力作の案内表示



プレス掲載一覧

■新聞／テレビ／ラジオ

- ・朝日新聞全国版（2012/08/24日付）

■雑誌

- ・Badi（2012年9月号p.4-5）
- ・G-MEN（2012年9月号p.342-343）
- ・スクリーン（2012年9月号p.138）

■ウェブサイト

- ・TimeOutTokyo（2012/08/07）
<http://www.timeout.jp/ja/tokyo/event/5530>
- ・エンタ魂（まぶい）（2012/08/22）
<http://www.ent-mabui.jp/news/2609>
- ・Cinema Factory（2012/08/25）
http://www.cinema-factory.net/contents/744_gay21/news.html
- ・INTRO（2012/08/26）
http://intro.ne.jp/contents/2012/08/26_2159.html
- ・g-lad xx（2012/08/29）
<http://gladxx.jp/features/scene/570/2614.html>
<http://gladxx.jp/people/2613.html>
- ・コミュニティアクション2012（2012/08/29）
<http://www.ca-aids.jp/>
- ・Spiral WEB（2012/09/06）
http://www.spiral.co.jp/e_schedule/detail_271.html

- ・SHOT Magazine（2012/09/06）

<http://www.shotmagazine.jp/2012/09/tokyo-lgff-21/>

- ・TOKYO HEADLINE（2012/09/06）

<http://www.tokyoheadline.com/vol565/tokyolife.10311.php>

- ・2CHOPO（2012/09/10）

<http://www.2chopo.com/special/TILGFF/>

- ・REALTOKYO（2012/09/11）

<http://www.realtokyo.co.jp/events/view/35852>

- ・Yahoo! News（2012/09/11）

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20120911-00000048-minkei-l13>

- ・シブヤ経済新聞（2012/09/11）

<http://www.shibukei.com/headline/8799/>

- ・ガチレズ！（2012/09/13）

<http://gachirezu.com/pickup.html>

- ・ミニシアターに行こう。（2012/09/13）

<http://mini-theater.com/2012/09/13/lgff2012/>

ウェブサイト・インターネットの活用について

■公式ウェブサイト



本年は、ウェブサイトだけでは補い切れない細かな情報、即時性の高い情報などをTwitterやFacebook、mixiを積極的に活用し発信しました。

また、Twitterでは比較的多い質問などは埋もれてしまわないよう定期的にbotで発信し、いつでも必要な情報が得られる様に工夫しました。

他にも、著名人から頂いたメッセージを部分的にツイートすることで、様々な人から支持を頂いていることを広めると共に、頂いたメッセージに対しても興味をいだき、サイトへの誘導が図れたのではないかとおもいます。

■2012年9月 WEB アクセス数実績

訪問数: 26,914

ユーザー数: 15,690

ページビュー数: 143,269

訪問別ページビュー: 5.32

訪問時の平均滞在時間: 00:04:05

■Twitter

アカウント: @TokyoLGFF

フォロワー数: 3,003名 (2012年12月31日現在) **昨年10月比約2倍増!**

■Facebookページ

URL: <http://www.facebook.com/TokyoLGFF>

いいね! 数: 774名 (2012年12月31日現在) **昨年10月比約2.5倍増!**

■mixiページ

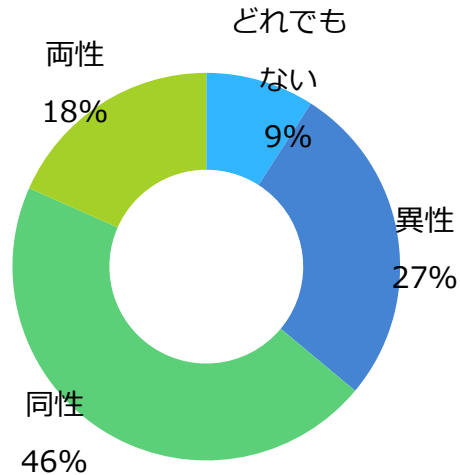
URL: http://page.mixi.jp/view_page.pl?page_id=97925

フォロワー数: 153名 (2012年12月31日現在) **昨年10月比約1.5倍増!**

アンケート（来場者について）

（有効回答数：445名 [8.9%]）

性的指向（恋愛対象）



■性的指向について

昨年と変わり回答した来場者のうち27%（昨年比-10%）がヘテロセクシュアル（異性愛者）です。またゲイ/レズビアンなどの同性愛者が46%（昨年比+11%）、バイセクシュアル（両性愛者）が18%（昨年比-3）%でした。

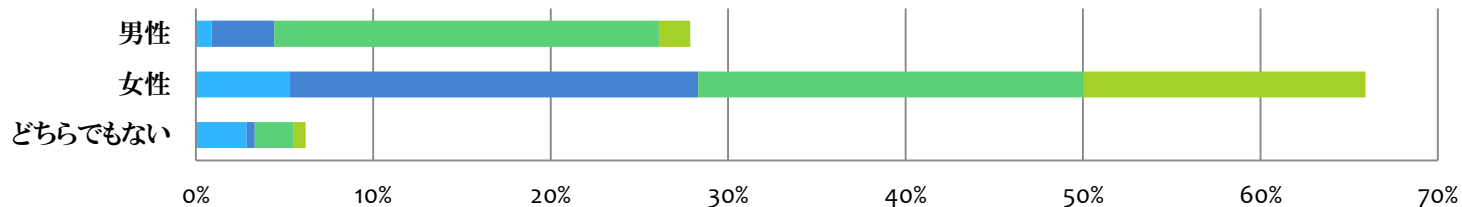
その他の内訳は、「アセクシュアル」「パンセクシュアル」「クエスチョニング」「わからない」などがあげられました。

■性自認について

回答者の半分以上が「女性」でした。また回答者で最も多い割合を占めたのが「女性」の「異性愛者」、次いで「レズビアン」、「ゲイ」と続きます。

その他の内訳は「FtX」「FtM」「ノンセクシュアル」などがありました。

性自認（性別）

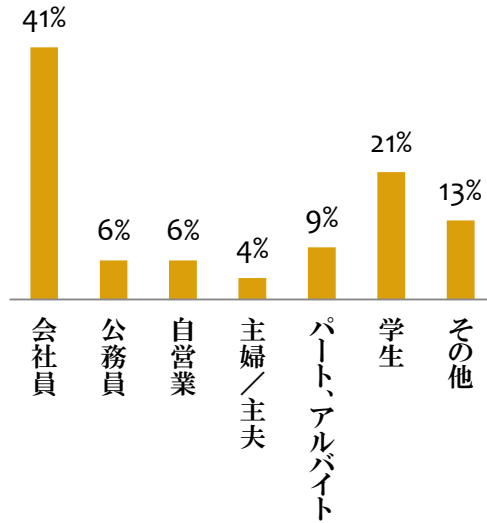


	どちらでもない	女性	男性
■ どれでもない	3%	5%	1%
■ 異性	0%	23%	4%
■ 同性	2%	22%	22%
■ 両性	1%	16%	2%

アンケート（来場者について）

（有効回答数：445名 [8.9%]）

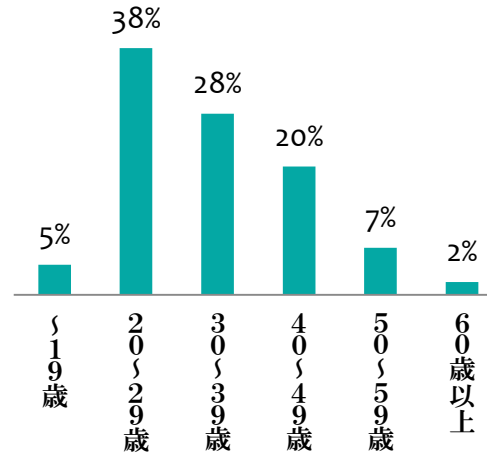
職業について



■ 職業について

会社員が（41%：昨年比-4%）でした。以下、学生（21%：昨年比-1%）、その他（13%：昨年比+4%）、パート・アルバイト（9%：昨年比-2%）と続きました。

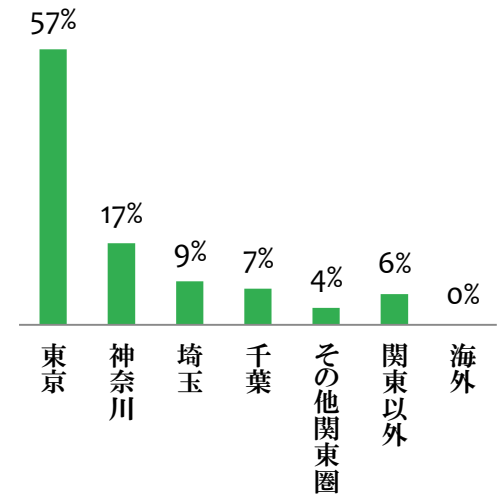
年齢層について



■ 年齢層について

一番多かったのは20代（38%：昨年比+1%）、次いで30代（28%：昨年比-2%）、40代（20%：昨年比-1%）と続きます。

在住地について



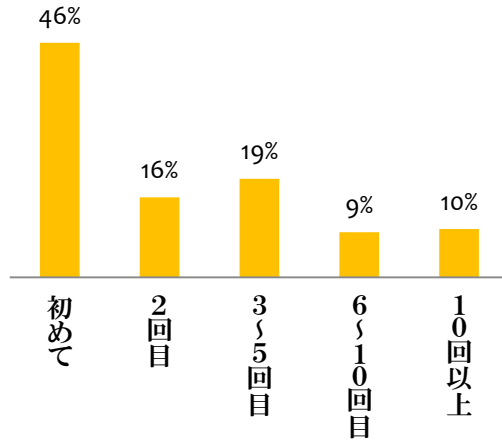
■ 在住地について

東京在住が（57%：昨年比-3%）です。次いで神奈川（17%：昨年比-2%）、埼玉（9%：昨年比-1%）と続きます。
その他の関東からは、茨城、栃木の順に人数が多かったです。関東以外では、大阪、静岡、京都他、最北は岩手、最南は沖縄という回答がありました。

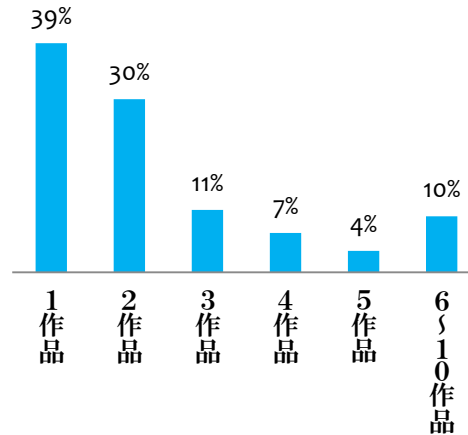
アンケート（映画祭について）

（有効回答数：445名 [8.9%]）

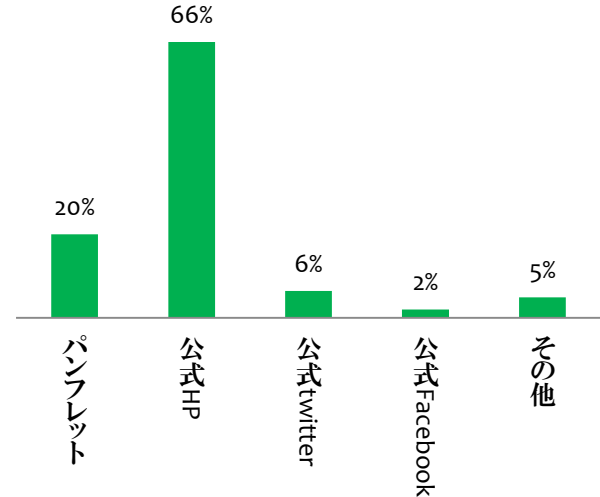
映画祭への来場回数



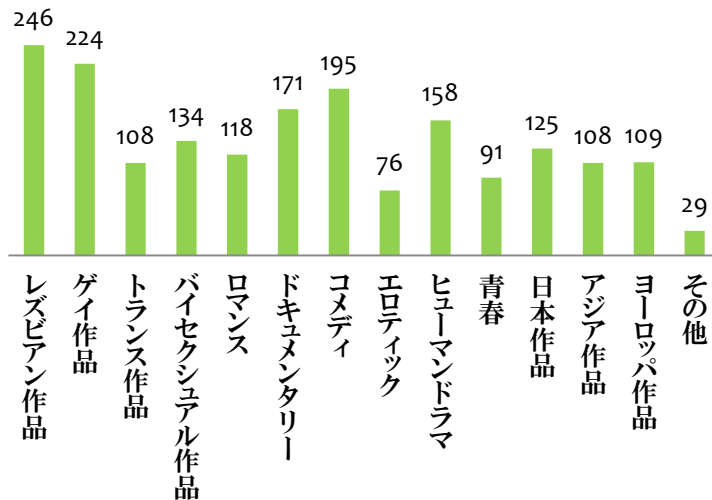
今回鑑賞した作品数



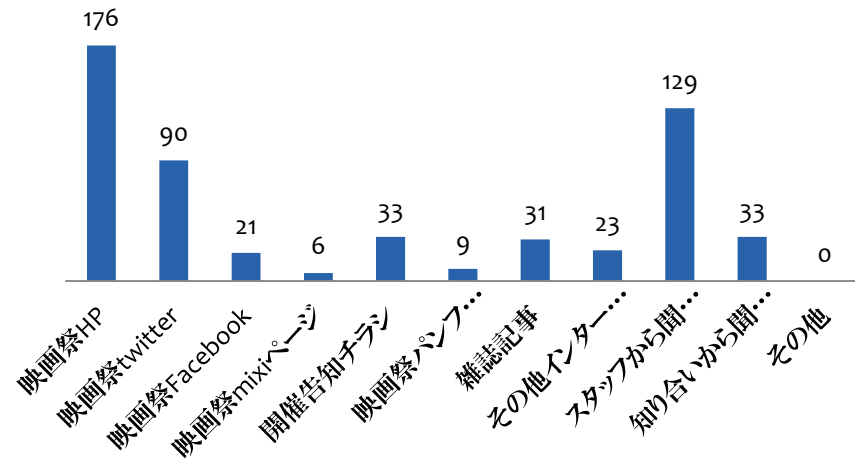
作品を決めるのに役立ったのは？



今後期待する作品（複数回答）



映画祭を知ったメディア



Tokyo International Lesbian & Gay film festival



発行：東京国際レズビアン＆ゲイ映画祭運営委員会
〒171-0033 東京都豊島区高田3-10-18東ビル401
FAX: 020-4666-6983
E-mail: staff-2011@tokyo-lgff.org